

令和4年度 組織目標設定

所属 部・局 企画財政部

【企画財政部 行動指針】

第7次宮津市総合計画、第2期宮津市行財政運営指針の着実な推進

芽生えてきた“形”を活かし、未来につなぐ企画財政部

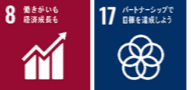
No	組 織 目 標	ページ
【第7次宮津市総合計画】		
1	関係人口創出・拡大、移住・定住促進（「深い関わりで幸福の熱量を高めるまち」「移住者と地域住民とのふれあいで地域に新たな活力を生むまち」を目指して） 【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】	P1
2	地域コミュニティ、市民協働（「地域コミュニティが充実し、人が元気で輝けるまち」「様々な立場の人々が一緒になり、互いの理解・尊重・信頼で、みんなが活躍できるまち」を目指して） 【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】	P4
3	海の活用（「宮津の海の資源を活かした魅力的な海のまち」を目指して） 【宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト/地域経済力が高まるまちづくり】	P5
4	シティプロモーション（「地域の宝(ヒト・モノ・コト)の誇りが育まれ、選ばれるまち」を目指して）【住みたい、住み続けたいまちづくり】	P5
5	公共交通（「誰もが移動しやすいまち」を目指して） 【安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり】	P6
6	文化・スポーツ振興（「豊かな心と体が育まれる文化芸術・スポーツのまち」を目指して）【ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり】	P7
7	計画の進捗管理	P8
8	「第2期行財政運営指針」に基づく安定した行財政基盤の構築	P9


1	<p>関係人口創出・拡大、移住・定住促進（「深い関わりで幸福の熱量を高めるまち」「移住者と地域住民とのふれあいで地域に新たな活力を生むまち」を目指して）</p> <p>【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】</p> 	<p>企画課 定住・地域振興係 魅力発信係</p>	<p>中間点検（9月）</p>	<p>実績（3月）</p>										
<p>運営目標 ①</p>	<p>【施策】 都市部からの人の流れを生み出すとともに、地域の事業者や住民との交流により、関係人口の創出・拡大と地域活性化を図る。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数：80人 [第7次宮津市総合計画数値目標] ワーケーション等拠点数・利用企業数 R元：一箇所⇒R7：5箇所10社 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元：44人⇒R7：延べ300人 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市部企業等の人材と地域の事業者及び住民が交流できる場を創出 (ワーケーションツアー:2回以上/年、都市部と地域の交流イベント:1回以上/月、外部人材を活用したセミナー等:4回以上/年) 入居企業の定着と地域との連携・共創による新たなモノ・コトの創出 (副業フェローや都市部企業研修の受け入れによる地域企業との連携・交流事業等:受入40人/年、SNSや動画を活用した魅力的な情報の発信による宮津のファンづくりを推進:情報発信番組の配信1回/月、高大連携や地域課題解決等の推進) 		<p>[地域内外の多様な人が交流できる場の創出]</p> <p>◆前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 総利用者人数:延べ1,294名(イベント・通常利用合算) イベント開催数45回/参加者350名超(主催・他催合算) <p>[入居企業の定着と地域との連携・共創]</p> <p>◆都市部企業研修と地域企業等との人材交流による実践交流型プログラム(入居企業:人材企業(株)関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「越境学習体験によるイノベーション創出の可能性」オンラインワークショップ(6/8)、現地ワークショップ(6/17・18)実施。 ※第2回10/20・21予定 ⇒6社7名の都市部企業人事担当者等が参加 <p>◆地方創生担い手創出プログラム「複業フェロー」活躍プロジェクト(入居企業:人材企業(株)関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「観光地域づくり」「地域商社」の2テーマの推進に向けた企画立案・実行支援に取り組む約5ヵ月間のプロジェクト 現地視察&交流ワークショップ(9/3・4)実施 ⇒12名の複業フェローが活動中 <p>◆動画情報発信の地域ネットワークづくり事業(入居企業:スターマーク(株)関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/17「CROSSING@海の京都宮津スタジオ」オープン 地域事業者向け動画マーケティング勉強会(7/25、8/25)実施 ⇒9名参加 <p>※今後、入居企業との交流、ワーケーション事業の展開に取り組む。</p>	<p>【達成すべき指標と実績】</p> <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数：80人 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数：85人 <p>【内 訳】</p> <table border="0"> <tr><td>○ 未来戦略マネージャー</td><td>7人</td></tr> <tr><td>○ 複業フェロー</td><td>12人</td></tr> <tr><td>○ 都市部企業研修の活用</td><td>41人</td></tr> <tr><td>○ 大学連携</td><td>25人</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>85人</td></tr> </table> <p>【各事業の取組状況】</p> <p>◆前尾記念クロスワークセンターの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 総利用延べ人数 3,852人 イベント回数 113回 <p>◆都市部企業研修と地域企業との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月 …参加者7名 10月 …参加者13名 2～3月 …参加者21名 <p>◆複業フェロー活躍プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者 … 12名 活 動 … 9月～1月 結 果 「地域商社プロジェクト」と「観光地域づくりプロジェクト」のテーマに基づき、6つの提案を受ける 	○ 未来戦略マネージャー	7人	○ 複業フェロー	12人	○ 都市部企業研修の活用	41人	○ 大学連携	25人	合 計	85人
○ 未来戦略マネージャー	7人													
○ 複業フェロー	12人													
○ 都市部企業研修の活用	41人													
○ 大学連携	25人													
合 計	85人													

<p>運営目標</p>	<p>②</p>	<p>【施策】 空家を利活用した移住者数の増加（受入取組の充実・強化）</p> <p>【達成すべき指標】 ・空き家等情報バンクを活用した移住者数等 12世帯23人(R3) →20世帯40人(R4)</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府移住促進条例の活用 〔京都府移住特別促進区域の指定:5地区(宮津・由良・栗田・吉津・日置・日ヶ谷)、お試し住宅への支援:1地区(上宮津)、地域の移住受入体制の整備 2地区(吉津ほか)〕 ・みやづUIターンサポートセンターの強化 〔空家活用ワークショップの開催:1講座/年、移住希望者向けパンフレットの作成:1種類、移住交流会、移住交流イベントによる移住希望者の掘り起こし 3回/年〕 ・空き家等情報バンクシステムの運用強化 〔空家総量調査の実施:1回/年、バンク登録への登録勧奨:1回/年、固定資産税通知等の活用による啓発:1回/年〕 ・定住促進住宅を活用した福祉人材等の移住の促進 〔産業経済部、健康福祉部、建設部と連携し、9/11 来て！見て！京都府体感フェスティバル(大阪市)、12/3 京都府の移住相談フェア(京都市)にいける情報発信〕 	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き家等情報バンクを活用した移住者数等（～9月） 3世帯5人（前年同期7世帯15人） ◆京都府移住促進条例の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・6/28 吉津地区が移住特区指定（本市5地区目） ・9/12 宮津地区指定申出（10/14 指定予定） ・未指定4地区の申出協議を進める（今年度は栗田・日ヶ谷地区に傾注。由良・日置地区は理解を深めR5で） ◆UIターンサポートセンターの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談件数 119件（前年同期206件） ・移住交流イベントによる移住希望者掘り起こし ⇒ 北部7市町合同企業説明会（5/25、6/28）、ALL KYOTO FES（9/11）、宮津就職フェア（9/13）で移住相談ブースを設置。計13組16人の移住希望者が来場。一部メールにて相談対応を継続中。 ◆バンク登録の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・新規9件（前年同期10件）／成約5件（同10件） ◆空家意向調査 空家総量調査の実施及び調査データをもとにバンクへの登録勧奨の通知 <ul style="list-style-type: none"> ・本年1回目：255件に意向確認 ・新規把握空家を含め2回目の意向確認準備中 <p>※移住希望者の幅広いニーズに対応するよう、空家意向調査及び地域（特区）との協働により新規登録物件の増加を継続的に実施。</p>	<p>【達成すべき指標と実績】</p> <p>（目標） ○空き家等情報バンクを活用した移住者数等 20世帯40人</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>（実績） ○空き家等情報バンクを活用した移住者数等 8世帯13人（R3：12世帯23人）</p> <p>※参考 市の施策により移住した実績 14世帯20人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク活用 8世帯13人 ・城東タウン 4世帯5人 ・地域おこし協力隊 2世帯2人 <p>【各事業の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆京都府移住促進条例の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・移住特区の指定 新たに4地区指定（合計8地区） ◆空き家バンクへの空き家登録 <ul style="list-style-type: none"> ・14件（R3：16件） ・空家意向調査を踏まえたバンク登録への働きかけ ◆空き家バンクを活用した移住実績 <ul style="list-style-type: none"> ・8世帯13人（R3：12世帯23人） ※空き家バンク登録物件の減等により実績減 ◆定住促進住宅を活用した移住促進 <ul style="list-style-type: none"> ・入居者数…7世帯8人 ・うち移住者数…4世帯5人 ◆UIターンサポートセンターの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談件数 217件（R3：336件） ・移住パンフレットの作成（3月） ・移住イベント等への参画
-------------	----------	---	---	---


<p>運営目標</p>	<p>③</p>	<p>【施策】 管理不全の空家を減らす</p> <p>【達成すべき指標】 ・管理不全な空家の解決率 57.5% (H28-R3) → 67.4% (H28-R4) ※4件を解決 (※管理不全な空地の解決率 43.3% (H28-R3)) [第2期宮津市空家空地対策計画数値目標] ・管理不全な空家空地の解決率 H28～R3 : 51.4% ⇒ R4～13 : 70.0%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・所有者調査・通知 必要回数 ・管理不全空家の状況把握 3回以上/年 ・民法等の改正に伴う新たな制度の周知 1回/年 ・終活セミナーの開催 2講座/年 (3回/講座) ・住まいの終活相談体制の構築 ・成年後見支援センターとの連携構築 ・シルバー人材センターと連携した空家管理サービス事業の構築</p>	<p>◆管理不全空家の状況 ・年度当初17件。うち2件が解体の動き。</p> <p>◆空家相談対応 近隣住民等からの空家相談による、空家所有者への適正な管理依頼通知を継続実施。 ・相談対応件数：延べ60件 (前年同期58件) ・実28空家 ⇒ 8件対応済み</p> <p>◆空家総量調査 水道事業受託事業者へ新規空家の掘り起こしを委託。 ・業務成果 新規報告126件 ⇒ 把握済み当空家を除く61件を職員が現地調査中</p> <p>◆空家意向調査 空家総量調査の実施及び調査データをもとにバンクへの登録勧奨の通知。 ・本年1回目：255件に意向確認 ・新規把握空家を含め2回目の意向確認準備中</p> <p>※今後、協定不動産事業者との協議を進め、新規事業に着手するほか、対策協議会の開催を実施。</p>	<p>【達成すべき指標】 (目標) ○管理不全な空家の解決率 57.5% (H28-R3) → 67.4% (H28-R4)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(実績) ○管理不全な空家の解決率 57.5% (H28-R3) → 69.8% (H28-R4) ※4件を解決</p> <p>【各事業の取組み】 ◆管理不全空家の状況 ・年度当初件数 17件 ・解消件数 4件 ・年度末件数 13件</p> <p>◆空家相談対応 ・相談件数 123件 (R3 : 86件)</p> <p>◆空家総量調査、空家意向調査の実施</p>
<p>運営目標</p>	<p>④</p>	<p>【施策】 ふるさと納税を推進することで魅力ある特産品を通じて本市の魅力を市外へ発信</p> <p>【達成すべき指標】 ふるさと納税額：3億円 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・ふるさと納税額 R元：8,500万円 ⇒ R7 : 10億円</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・返礼品の増加 ・情報発信の強化 (広告配信の開始) ・新たな寄附者の開拓及びリピート率の向上</p>	<p>◆ふるさと納税額 (4月～9月) ※申込ベース 39,633,000円 (昨年対比+3.2%) (前年度同期 38,384,000円)</p> <p>◆返礼品の増加 ・増加数 71品 (前年度実績 80品)</p> <p>◆情報発信の強化 ・9月から2か月間、サイト内広告の開始 (2サイト) ・新たな納税サイトの導入 (3サイト) ※10月から順次 ・サムネイル変更</p> <p>◆新たな取組 ・旅先納税の開始 (11月予定)</p> <p>※今後も引き続き、返礼品の増加・広告配信の分析・新サイト導入検討を進める。</p>	<p>【達成すべき指標】 (目標) ○ふるさと納税額：3億円</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(実績) ○ふるさと納税額：1億85百万円 (R3: 1億47百万円)</p> <p>【各事業の取組み】 ◆返礼品の登録増加 ・返礼品増加数 117品 (R3 : 80品) ・旅先納税 (海の京都コイン) の取組 ・NFTの導入</p> <p>◆情報発信の強化 ・新たな納税サイトの導入 3サイト ・サイト内での広告配信の導入 R5.9～</p> <p>◆既存商品の魅力化に向けた取組み ・サムネイル画像の改善による商品の魅力化</p>

2	<p>地域コミュニティ、市民協働（「地域コミュニティが充実し、人が元気で輝けるまち」「様々な立場の人々が一緒に、互いの理解・尊重・信頼で、みんなが活躍できるまち」を目指して）</p> <p>【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】</p> 	<p>企画課 定住・地域振興係</p>	<p>中間点検（9月）</p>	<p>実績（3月）</p>
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 地域コミュニティの充実と地域において様々な立場の人が協働して活躍するまちの構築</p> <p>【達成すべき指標】 課題解決に取り組む地域・団体数 5地域・団体 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元：4地域・団体（3大学）（-） ⇒R7：8地域・団体（5大学）（3地域おこし協力隊）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決型地域おこし協力隊による取組支援を継続（上宮津地区）（通年） ・地域課題解決型地域おこし協力隊を必要とする地域の募集（6～7月） ・まちづくり補助金による市民団体等の活動支援、コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援、地域会議補助金等による地域会議の活動の支援（通年） ・エリア連携構想の議論と併せ、地域会議の今後のあり方を検討（体制・目的の見直し）（8月～） ・大学等連携事業による地域課題解決への取組支援（通年） 		<p>◆地域課題解決型地域おこし協力隊による支援の継続 ⇒上宮津地区に隊員1名を配置</p> <p>◆まちづくり補助金による市民団体等の活動支援 ⇒8/23事業審査会を実施。3団体の申請を採択。</p> <p>◆コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援 ⇒（R4実施）1件（江尻自治会）支援 （R5申請）2件（宮本/銀丘自治会）申請</p> <p>◆地域会議補助金等による地域会議活動の支援 ⇒5地域会議（宮津中部/宮津西部/養老/日置/由良）への交付を決定</p> <p>◆大学等連携事業による地域課題解決への取組支援 ⇒2大学（京大/京産大）3プロジェクトを支援中 ※城東タウンの大学生等の滞在拠点づくりに、府立大とトライアルに取り組む。</p>	<p>【達成すべき指標】 課題解決に取り組む地域・団体数（4） ⇒大学等連携事業による地域課題解決への取組（2大学3地域・団体） ⇒地域課題解決型地域おこし協力隊（1人）による取組（上宮津地区）</p> <p>◆地域課題解決型地域おこし協力隊による支援の継続 ⇒上宮津地区に隊員1名を配置</p> <p>◆まちづくり補助金による市民団体等の活動支援 ⇒3団体を支援</p> <p>◆コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援 ⇒（R4実施）1件（江尻自治会）支援 （R5申請）2件（宮本/銀丘自治会）採択</p> <p>◆地域会議補助金等による地域会議活動の支援 ⇒5地域会議（宮津中部/宮津西部/養老/日置/由良）を支援</p> <p>◆大学等連携事業による地域課題解決への取組支援 ⇒2大学（京大/京産大）3プロジェクトを支援 ※城東タウンの大学生等の滞在拠点づくりに、府立大とトライアルに取り組む。</p>

3	<p>海の活用（「宮津の海の資源を活かした魅力的な海のまち」を目指して） 【宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト/地域経済力が高まるまちづくり】</p> 	<p>企画課 定住・地域振興係</p>	<p>中間点検（9月）</p>	<p>実績（3月）</p>
<p>運営目標</p>	<p>①</p> <p>【施策】 「田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会」による田井エリアの魅力づくり</p> <p>【達成すべき指標】 ・栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数の増加 R元：46.2万人⇒R4：47.8万人 〔第7次宮津市総合計画数値目標〕 ・栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R元：46.2万人⇒R7：50.8万人</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 〈関係者の連帯感創出〉 ・にぎわいフェスタの開催（4月・11月） ・閑散期となる冬期の賑わいづくり（イルミネーション設置など） 〈連携事業の企画・実践〉 ・「田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会」連絡調整会議の設置 ・田井臨海エリアの情報発信力の強化 ・大阪関西万博に向けた連携 〈田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援〉 ・田井宮津ヨットハーバーのリニューアル ・田井宮津ヨットハーバーの健全な運営体制の確認</p>	<p>◆関係者の連帯感創出 ・宮津田井海まちフェスタ 4/23 開催 約1,000名来場 ・12/10 宮津田井海まちフェスタ開催予定 テーマ「食と音楽・エンタメ」</p> <p>◆連携事業の企画・実践 ・6/27 実行委員会に企画連絡調整部会を設置 ・8/26、9/15 企画連絡調整部会開催 エリアの情報発信、事業連携、12/10 イベント企画の実施に向けて検討 ・大阪関西万博に向けた連携を図るため、11/20 大阪天保山まつりにおいて北前船をテーマとした宮津市ブースを出展（産業経済部対応）</p> <p>◆田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援 ・4/23 ハーバーリニューアルオープン（4～6月） 駐車台数 600台/月 BBQ施設利用者 約130名 グランピング利用者 約800名 ・7/19 運営状況確認のため第1四半期実地調査実施</p>	<p>【達成すべき指標】 栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数の増加 R元：46.2万人⇒R4：27.8万人(47.8万人)</p> <p>◆関係者の連帯感創出 ・宮津田井海まちフェスタ 4/23 開催 約1,000名来場 ・宮津田井海まちフェスタ 12/10 開催 約600名来場 （地元住民による食のふるまい協力）</p> <p>◆連携事業の企画・実践 ・6/27 実行委員会に企画連絡調整部会を設置 ・以後、全4回、企画連絡調整部会開催 エリアの情報発信、事業連携、12/10 イベント企画、府補助事業等について検討 ・PRに向け、「京のみなとオアシス連絡調整会議」「宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会」に参画。 ・大阪関西万博に向けた連携を図るため、11/20 大阪天保山まつりにおいて北前船をテーマとした宮津市ブースを出展（産業経済部協力）</p> <p>◆田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援 ・4/23 ハーバーリニューアルオープン（4～12月） 駐車場利用台数 約6,100台 BBQ施設利用者 約430名 グランピング利用者 約3,000名 ・環境整備の実施（老朽施設の機能復旧工事（栈橋）） ・運営状況確認のため第1～3四半期実地調査実施 ※第4四半期分は翌年度へ ・京都府漁業協同組合、(株)にしがき、宮津市による円滑な施設運営等に係る三者協定締結。</p>	

4	<p>シティプロモーション（「地域の宝(ヒト・モノ・コト)の誇りが育まれ、選ばれるまち」を目指して） 【住みたい、住み続けたいまちづくり】</p> 	<p>企画課 魅力発信係</p>	<p>中間点検（9月）</p>	<p>実績（3月）</p>
<p>運営目標</p>	<p>①</p> <p>【施策】 地域資源を最大限に活かした情報発信を強化し、シビックプライドが育まれ、人を惹きつけ、選ばれるまちづくり</p> <p>【達成すべき指標】 市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数：13万PV突破 〔第7次宮津市総合計画数値目標〕 ・宮津に愛着・誇りをもっている割合 R元：73%⇒R7：100% ・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元：-⇒R7：10万PV</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・シティプロモーション戦略による市民提案型プロモーション事業の実施 ・市ホームページでの宮津魅力発信コンテンツの制作とSNSでの積極的な発信</p>	<p>◆宮津天橋高校生企画フォトコンテスト開催（6月）</p> <p>◆市公式HP(シティプロモーション)ビュー数：12万PV（4月～9月） 100本以上制作したデジタルコンテンツのうち、観光関連のコンテンツ閲覧者が多数</p> <p>◆デジタルコンテンツ制作 月2本制作</p> <p>◆SNSの積極的な発信 広報誌のLINE配信開始、インスタグラムフォロワー強化（フォトコンテスト開催、発信回数増※4～9月：37回・R3：46回）</p> <p>◆シティプロモーション戦略の検討 新たな事業展開に向けた副業人材との隔週会議を開催 ※引き続き、コンテンツの制作を進め、下半期に新たなプロモーション展開を構築する。</p>	<p>【達成すべき指標】 (目標) ○市公式HP年間ビュー数：<u>13万PV</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(実績) ○市公式HP年間ビュー数：<u>24万PV</u></p> <p>【各事業の取組み】 ◆シティプロモーション戦略の構築 ・シティプロモーション戦略「ミラクル」を策定 ◆デジタルコンテンツの制作 ・24本制作 ◆宮津天橋高校生企画フォトコンテストの開催 ・6月、12月の2回 ◆SNSを活用した発信強化 ・LINEでの広報誌の配信開始</p>	

5	公共交通（「誰もが移動しやすいまち」を目指して） 【安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり】	 	企画課 企画政策係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 持続可能な公共交通の確立及びシームレスで移動しやすいまちの実現</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・200円バス利用者数 290千人/年 ・京都丹後鉄道利用者数 1,450千人/年 ・公共交通空白地有償運送利用人数 1,600人/年 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・200円バス利用者数 R元：340千人/年⇒R7：395千人/年 ・京都丹後鉄道利用者数 R元：1,580千人/年⇒R6：1,835千人/年 ・公共交通空白地有償運送利用人数 R元：－⇒R7：1,900人/年 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都府駅再生プロジェクト推進事業」(R4.6補正)を活用し、待合環境や乳幼児向け施設を充実させたりリニューアルを実施 <ul style="list-style-type: none"> ○高校生や子育て世代等の関係者とのワークショップの実施(10月～12月) ○リニューアルに向けた実施設計の実施(1月～3月) ・宮津駅の長寿命化に向けた調査の実施(6月～3月) ・エネ高事業を活用し、宮津市に適した新たな移動手段等を検討 <ul style="list-style-type: none"> ○先進地視察の実施(8月～9月) ○先進事例の調査・研究(8月～12月) ○関係者等との協議を実施(10月～2月) ・公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた意見交換会開催(8月) ・コロナ禍における交通事業者との意見交換及び迅速な支援の実施(随時) ・京都丹後鉄道利用促進協議会による活動(通年) <ul style="list-style-type: none"> ○デジタルスタンプラリーの実施や丹鉄こども新聞の発行等による利用啓発の実施 ○駅の賑わい創出イベントの開催やフォトコンテストの実施による利用促進 ・公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施(年3回程度) ・北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向けた合同企業説明会等を実施(7月～2月) 			<p>◆「京都府駅再生プロジェクト推進事業」(R4.6補正)を活用し、待合環境や乳幼児向け施設を充実させたりリニューアルを実施 →9月補正予算計上(9/30議決) ワークショップの開催に向け、京都工芸繊維大学と協議(9月～)</p> <p>◆宮津駅の長寿命化に向けた調査の実施 →委託契約を締結(8月)し、調査を実施中</p> <p>◆エネ高事業を活用し、宮津市に適した新たな移動手段等を検討 →先進地視察(10/17～19)の実施に向け、調整(7月～9月)</p> <p>◆公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた意見交換会開催 →未実施</p> <p>◆コロナ禍における交通事業者との意見交換及び迅速な支援の実施 →(株)日交と協議(7月)し、夜間タクシーの確保に向けた支援を開始(8月～)</p> <p>◆京都丹後鉄道利用促進協議会による活動 →デジタルスタンプラリー実施に向けた調整(8月～) 丹鉄こども新聞の発行(7月) 西舞鶴駅のりのりフェスタに参加(5/28)</p> <p>◆公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施(年3回程度) →10/16の開催に向け、丹海との調整等を実施(9月)</p> <p>◆北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向けた合同企業説明会等を実施 →未実施</p>	<p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・200円バス利用者数 238千人/年 ・京都丹後鉄道利用者数 1,315千人/年 ・公共交通空白地有償運送利用人数 3,444人/年 <p>◆「京都府駅再生プロジェクト推進事業」(R4.6補正)を活用し、待合環境や乳幼児向け施設を充実させたりリニューアルを実施 →京都工芸繊維大学と連携し、ワークショップ開催(3回) R5年度改修に向け実施設計完了</p> <p>◆宮津駅の長寿命化に向けた調査の実施 →調査完了 R5年度改修に向け実施設計完了</p> <p>◆エネ高事業を活用し、宮津市に適した新たな移動手段等を検討 →先進地視察(10/17～19)の実施 R5年度実証に向けた調整等実施</p> <p>◆公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた意見交換会開催 →地域公共交通会議(3/9)において、各公共交通空白地有償運送協議会が取組を報告、共有</p> <p>◆コロナ禍における交通事業者との意見交換及び迅速な支援の実施 →(株)日交と協議(7月)し、夜間タクシーの確保に向けた支援を実施(8月～3月)</p> <p>◆京都丹後鉄道利用促進協議会による活動 →デジタルスタンプラリー実施 丹鉄こども新聞の発行(7月、12月) のり乗りフェスタ(5/28)、鉄道博2023(1/7)に参加</p> <p>◆公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施(年3回程度) →10/16交通フェスティバルに合わせ実施(大人25人、小人24人参加)</p> <p>◆北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向けた合同企業説明会等を実施 →京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会実施の京都北部5市2町合同企業説明会やたんご就職フェア、海の京都宮津就職フェアに交通事業者も参加し、一定の機会は得ていることから、京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会での出展は見送り。</p>

6	<p>文化・スポーツ振興（「豊かな心と体が育まれる文化芸術・スポーツのまち」を目指して） 【ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり】</p> 	<p>企画課 企画政策係</p>	<p>中間点検（9月）</p>	<p>実績（3月）</p>
<p>運営目標</p>	<p>①</p>	<p>【施策】 多彩な歴史文化資源に触れ合う機会の創出と魅力の発信に向けた市民活動の裾野拡大</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 3回/年 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 R元：－⇒R7：12回 ・文化団体協議会登録団体の数 R元：33団体⇒R7：35団体 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動活性化事業補助金制度の積極的な活用(20件/年)と情報発信 ・アーティストによる公演等の開催(9/21 田中彩子天橋立公演の開催) ・宮津市文化団体協議会の組織強化及び活動支援 ・市民文化祭の開催(11月) ・文化団体等の活動PRを促進する浜町ギャラリーの活用 ・小中学生を対象とした文化芸術体験活動の実施 	<p>◆文化芸術活動活性化事業補助金活用実績 上半期 7件(R3実績:2件)</p> <p>◆モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の開催 ・5/16 田中彩子 モノオペラ「細川ガラシャ」天橋立公演実行委員会設置 ・9/21 天橋立公演開催(特設舞台)約350名来場</p> <p>◆田中彩子氏と中学生との交流会開催 9/22 宮津中学校、栗田中学校全校生徒参加</p> <p>◆田中彩子氏を「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」に委嘱(9/22委嘱式)</p> <p>※下半期も引き続き、10/21上方演芸会、11/3～5市民文化祭、文化芸術体験活動などを実施し、文化振興の気運醸成に取組む</p>	<p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数：11回 <p>※コロナの影響が緩和され、達成指標を大きく上回る実績があった。</p> <p>◆文化芸術活動活性化事業補助金活用実績 11件 ※音楽・舞踊(演奏等披露)分野：7件(文化ホール、旧三上家住宅、本妙寺、智源寺) 美術・写真(作品展示等)分野：4件(旧三上家住宅、旧上宮津小学校、盛林寺、クロスワークセンターMIYAZU)</p> <p>◆モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の開催 ・5/16 田中彩子 モノオペラ「細川ガラシャ」天橋立公演実行委員会設置 ・9/21 天橋立公演開催(特設舞台)約350名来場</p> <p>◆田中彩子氏と中学生との交流会開催 9/22 宮津中学校、栗田中学校全校生徒参加</p> <p>◆田中彩子氏を「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」に委嘱(9/22委嘱式)</p> <p>◆「上方演芸会」公開収録の開催(10/21) 出演：祇園、立山センター・オーバー、たらちね、海原はるか・かなた</p> <p>◆宮津市民文化祭の開催(11/3～5) ・芸能祭 12団体出演、延べ329人来場 ・音楽祭 10団体出演、延べ403人来場 ・美術展 95名・182点出展、延べ609人来場 ・歴史資料館特別開館 延べ48人来場</p> <p>◆中学生文化芸術体験の実施 ・12/18 京都コンサートホールで行われた「全国高校生伝統文化フェスティバル」の鑑賞 1名参加</p> <p>◆小学生文化芸術体験の実施 ・3/26 京都府中丹文化会館で行われた「夏井いつき句会ライブ in 中丹」に参加 1名参加</p> <p>⇒R5に向けて ※市民文化祭が50回目の節目及び文化庁京都移転の記念事業等が行われる年となるため、これらを契機として更なる文化芸術活動促進の気運を高めていく。</p>

運営目標	②	<p>【施策】 スポーツを通じた人とまちの元気づくりに向けたジュニア育成とスポーツ観光の推進</p> <p>【達成すべき指標】 ・全国・広域的スポーツ大会誘致数 6大会/年 ・ジュニア選手の全国大会出場を目指す団体の育成（チャレンジ団体数 10）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・ジュニア・スポーツ団体の育成補助金制度の創設（8月） ・ジュニア育成チャレンジ事業の実施（実施団体の募集：9月） ・ビーチバレーボール京都府大会開催にあわせた清掃活動、ジュニア教室の実施 ・天橋立エコ・スポーツフェスティバルの開催 ・「市民スポーツ DAY」「SOMPO ボールゲームフェスタ」の開催 ・第3期宮津市スポーツ推進計画の策定 ・スポーツ関係団体のネットワークづくり（意見交換の開催） ・京都サンガ F.C. との協定の締結によるホームタウン活動を通じた地域の元気づくり活動の実施</p>	<p>◆京都サンガ F.C. ホームタウン加入 4/26 承認、5/29 ホームタウン協定締結 ※下半期：観戦ツアーや講習会などホームタウン活動を推進</p> <p>◆スポ GOMI in 天橋立実施（周年記念事業） 6/26 京都府ビーチバレーボール連盟、第一生命、大塚製薬と連携し開催。12 チーム 49 名参加</p> <p>◆天橋立エコ・スポーツフェスティバル実施（周年記念事業） 9/18 宮津市地域女性の会、Sports Club RAINBOW、京都府ビーチバレーボール連盟と連携し開催。</p> <p>◆SOMPO ボールゲームフェスタ開催延期 10/2 参加少数のため中止。2～3 月開催に向けて調整。</p> <p>◆7～8 月 スポーツ協会、中学校との意見交換、ジュニアクラブ等へのアンケート実施</p> <p>◆ヨット教室、四都市体育大会などを実施 ※下半期：ジュニア育成補助金制度や第3期スポーツ推進計画策定をすすめる</p>	<p>・全国・広域的スポーツ大会誘致数 5(6)大会/年 ・ジュニア選手の全国大会出場を目指す団体の育成（チャレンジ団体数 3(10)）</p> <p>◆ジュニアスポーツ団体育成補助金制度の創設（2月）</p> <p>◆スポ GOMI in 天橋立実施（周年記念） 6/26 京都府ビーチバレーボール連盟、第一生命、大塚製薬と連携し開催。12 チーム 49 名参加。</p> <p>◆天橋立エコ・スポーツフェスティバル実施（周年記念） 9/18 宮津市地域女性の会、Sports Club RAINBOW、京都府ビーチバレーボール連盟と連携し開催。</p> <p>◆「市民スポーツ DAY」「SOMPO ボールゲームフェスタ」開催 ※100 名超の市民が参加。</p> <p>◆第3期宮津市スポーツ推進計画を策定（令和5年3月）</p> <p>◆大塚製薬(株)協力、スポーツ協会共催「生涯スポーツ指導者研修会」の実施（令和5年2月23日）</p> <p>◆京都サンガ F.C.ホームタウン加入 4/26 承認、5/29 ホームタウン協定締結。以後、市民観戦ツアー、サンガサッカー教室@宮津を開催。</p>
------	---	--	--	--

7	計画の進捗管理	企画課 企画政策係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	①	<p>【施策】 第7次宮津市総合計画推進施策を着実に実施する。</p> <p>【達成すべき指標】 ・エリア連携構想に向けた話し合いを市内全地域で進展</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催（8月、12月） ・第7次宮津市総合計画実施計画の修正（8月） ・第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催（年3回。6月、8月、2月） ・エリア連携構想策定に向けた地域との意見交換会、ワークショップの開催（1地域当たり年2～3回。7月～3月） ※市長、学識経験者と一緒に地域に入って、意見交換を実施 各地域への話題提供 ⇒ 地域の課題把握 ⇒ 共通する課題を地域で共有し、関連する地域と一緒に意見交換 という流れで進めていく。</p>	<p>◆第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催 →今年度の重点事業及び新規事業についてサマーレビューを実施（8月）</p> <p>◆第7次宮津市総合計画実施計画の修正 →実施（8月）</p> <p>◆第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催（年3回） →第1回会議を開催（6月）</p> <p>◆エリア連携構想策定に向けた地域との意見交換会、ワークショップの開催（1地域当たり年2～3回） →南部・北部地域懇談会（10/11、14）の開催準備（9月）</p>	<p>【達成すべき指標】 ・エリア連携構想に向けた地域懇談会を開催（北部会場 10/11、南部会場 10/14）</p> <p>◆第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催 →今年度の重点事業及び新規事業についてサマーレビューを実施（8月） 令和5年度当初予算編成に向け、市長総括ヒアリングを実施（12月）</p> <p>◆第7次宮津市総合計画実施計画の修正 →実施（8月）</p> <p>◆第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催（年3回） →第1回会議（6月）、第2回会議（11月）を開催</p> <p>◆エリア連携構想策定に向けた地域との意見交換会、ワークショップの開催（1地域当たり年2～3回） →南部・北部地域懇談会（10/11、14）を開催</p>

8	「第2期行財政運営指針」に基づく安定した行財政基盤の構築	財政課予算係、 資産活用係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	①	<p>【施策】 今後の人口減少等を見据えた「持続可能な歳入確保策」及び「行政サービスのあり方」の検討</p> <p>【達成すべき指標】 「中長期的に安定した行財政運営」に資する具体策の構築 →※川勝先生から「財政健全化を表に出さない方が良い」との意見をいただいたことから、目標金額は書かない</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行財政基盤安定化PT（庁内組織）による課題抽出、対応策の検討 →令和4年度は短期的に実施するものを中心に ・持続可能な行財政運営有識者会議（外部有識者）による検討の実施 →行財政基盤安定化PT、既存の検討会議等での検討した内容のうち、必要な項目を選定した上で、当会議に提案し、助言等を受ける ・予算査定等での見直しの実施 →①、②以外の個別事業について、予算査定において適宜見直し 市民環境部と連携 	<p>■ 持続可能な行財政運営有識者会議</p> <p>○ 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R04.06.02 第1回目開催（現状把握） ・R04.11.08 第2回目開催予定 <p>（内容）事業ユニットによる事業見直し方法の提案 原価積み上げ方式による使用料等の見直しに係る素案の提示</p> <p>○ 今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月（2回目会議終了後）にPTを立ち上げ ・事業ユニットによる事業見直しについて、2ユニット程度を選択して、PTにおいて具体的見直しに着手 ・見直し結果を第3回目の有識者会議に諮る 	<p>■ 「中長期的に安定した行財政運営」に資する具体策の構築</p> <p>→①持続可能な行財政運営有識者会議 →計3回実施 →初年度であるR4においては、移住・定住の促進に向けて、「住環境の充実」をテーマに、現状分析と今後の対策を取りまとめ→R5当初予算に反映</p> <p>→②その他個別事業の見直し →R5当初予算編成において、「新たな健全化」として計21項目の見直しを行い、約64百万円の財源を捻出</p>
運営目標	②	<p>【施策】 賦課徴収対策の強化</p> <p>【達成すべき指標】 収納率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現年分 98%以上 ※ 収納実績：平均 97.5%程度 (市税…99%程度、使用料等…95%) ○ 滞納繰越分 35%以上 ※ 収納実績：平均 32%程度 (市税…20%程度、使用料等…40%程度) <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理マニュアルの作成 ・各債権の情報共有（名寄せ）の検討 ・私債権担当職員の研修会参加による実務や手法の習得 (具体の対応) 令和4年度は大口滞納者を名寄せ＋共同徴収等の検討 ・債権管理条例の制定検討 	<p>■ 実施状況</p> <p>○ 収納率の状況（R03決算一般会計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現年分 99.3%（前年度比 +0.8%） ・滞納分 26.1%（前年度比 +9.9%） <p>○ 滞納整理マニュアルの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施済 <p>○ 各債権の情報共有の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討したが、極めて困難との結論 ・私債権について、一連を弁護士に依頼する方法を検討 	<p>■ 収納率の向上</p> <p>→出納整理期間中につき詳細不明であるが、概ね目標に近くなるものと見込む</p> <p>■ その他</p> <p>→滞納整理マニュアルの作成、研修会の開催等により、徴収強化に向けた職員の資質向上が図られた</p>

<p>運営目標</p>	<p>③</p>	<p>【施策】 使用料・手数料の見直し（原価積上げ方式による全面見直し）</p> <p>【達成すべき指標】 「受益者負担の適正化に関する指針」の策定 指針に基づき、見直し対象とする使用料、手数料及びその額を決定 ※ 施行時期については、新型コロナの状況等を踏まえ別途検討</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・財政課において指針骨子を策定 ・指針骨子を行財政基盤安定化PTで調整の後、持続可能な行財政運営有識者会議に提案し、助言等を受ける ・指針成案を策定し、公表（全協等を想定）</p>	<p>■ 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春頃 指針の財政課素案を策定 ・7月頃 川勝先生に助言を受ける ・秋頃 助言に基づく素案の修正 <p>■ 今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 「持続可能な行財政運営有識者会議」に指針素案を提示し助言を受ける ・冬頃 指針に基づく試算の実施 「持続可能な行財政運営有識者会議」に試算結果を踏まえた最終案を提示し助言を受ける ・春頃 指針成案を策定 	<p>■ 「受益者負担の適正化に関する指針」の策定 →指針素案は策定し、有識者会議で報告済 →素案に基づく個別の使用料算定が未了。引き続き R5 で取り組む</p>
<p>運営目標</p>	<p>④</p>	<p>【施策】 公共施設マネジメントの着実な実行</p> <p>【達成すべき指標】 「公共施設再編方針書」におけるフェーズ1（R7年度まで）の達成率 R3年度末 22%（23/103件） → R4年度末 40%（42/103件）以上</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・「庁内検討会議」において各施設所管課のR4達成目標の設定と進捗管理 ・「有識者等による推進会議」において再編の進捗報告と検証 ・地元・関係団体等への無償譲渡を促す支援制度の検討 ・「未来の庁舎を考える市民会議」による市役所庁舎に係る市民意向・アイデアの把握（※総務部と連携）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各所管施設の R4 目標設置と進捗管理 …11/2 庁内検討会議で実施 ・無償譲渡を促す支援制度 …11/2 庁内検討会で施設譲渡負担金（案）を協議負担金（案）とセットで地元協議を再開 ・有識者等による推進会議（予定） …12月にフィールドワーク（施設見学） …3月に R4 進捗報告と検証 ※庁舎は総務部で市民会議を3回実施 	<p>■ フェーズ1 達成率 →R4末 33% →「地元・関係団体等への無償譲渡を促す支援制度」は構築したが、R4中に地元合意に至った物件なし →引き続き、庁内検討会議において進捗管理に努める</p>
<p>運営目標</p>	<p>⑤</p>	<p>【施策】 民間資本導入による島崎ウォーターフロントエリアの再開発</p> <p>【達成すべき指標】 R6以降の民間開発事業者の公募に向けた「構想計画」の立案</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・民間開発事業可能性調査（主にデベロッパー等へのヒアリング） ・調査結果を踏まえた「構想計画委員会（仮称）」による計画案検討着手 ・構想計画（素案）立案 ・上記素案について、市民、議会等への意見聴取</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間開発事業可能性調査をコンサル委託 …民間ヒアリング調査（61社） 現地アテンド（2社） ・12月中に調査結果の取りまとめ ・1月～2月に事業化（公募）に向けた庁内協議 …企画財政、建設、産業、教育 ・3月に議会報告 	<p>■ 「構想計画」の立案 →興味を示す事業者は複数あったが、具体的な構想計画の立案には至らず →R4のヒアリング結果を踏まえ、「道の駅」を中心に対象エリアを拡大し、引き続き R5 で取り組む</p>

<p>運営目標</p>	<p>⑥</p>	<p>【施策】 遊休資産の売却推進</p> <p>【達成すべき指標】 R4 当初予算額（10,000 千円）の確保</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休資産の情報公開（市HP）及びニーズ調査の充実（9件→15件以上） ・長期公募中の物件（旧互助会館、旧福祉センター等）は公募手法、価格等の見直しを検討 	<p>先着順による公募中 7 件（旧互助会館、旧福祉センター等）</p> <p>…現時点で売却なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売却予定価格等の見直し <p>…旧互助会館、旧福祉センター等は、移住・定住対策の庁内協議と合わせ検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休資産の情報公開、民間提案募集 <p>…市HPで 15 件公開中</p> <p>民間とのマッチング対策として、民間の情報プラットフォームサイトの活用（民間会員 1,500 社以</p>	<p>■売却収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> →未達成（売却物件なし） →R5 から住宅建設促進に向けた最低売却価格の見直しを実施。引き続き売却に取り組む <p>※旧福祉センターについては、ホテルとして買取意向を示す事業者あり。R5 中に売却見込み</p>
-------------	----------	---	--	--